

# 第26回木曽音楽祭

2000.8.24・25・26・27

前夜祭コンサート 8月24日(木) 7時

福島中学校体育館

名曲コンサート

モーツァルト●フィガロの結婚 序曲 他(木管八重奏版)  
クロール●パンジョーとフィドル/ショパン●英雄ポロネーズ 他

フェスティバルコンサートⅠ 8月25日(金) 7時 木曽文化公園文化ホール

モーツァルト●ディヴェルティメント 二長調 K.251/ラハナー●九重奏曲 へ長調  
シューベルト●ピアノ九重奏曲 イ長調「ます」作品114 D.667

フェスティバルコンサートⅡ 8月26日(土) 7時 木曽文化公園文化ホール

ダマーズ●木管五重奏のための17の変奏曲/コルンゴルト●ピアノ五重奏曲 ホ長調 作品15  
ブラームス●セレナーデ第1番 二長調 作品11(9重奏版)

フェスティバルコンサートⅢ 8月27日(日) 3時 木曽文化公園文化ホール

メンデルスゾーン●弦楽五重奏曲 第1番 作品18/シュポア●幻想曲と変奏曲 変ロ長調 作品81  
ボザ●木管八重奏曲/ブラームス●ピアノ四重奏曲 第1番 短調 作品25

\*曲目・出演者が変更になる場合がございます あらかじめご了承ください。未就学児の入場はお断り致します。

Violin	漆原啓子 加藤知子 久保陽子 小林美恵 鈴木理恵子 服部譲二
Viola	安藤裕子 市坪俊彦 菅沼準二 廣狩 亮
Violoncello	堀 了介 山崎伸子 山本裕康
Contrabass	星 秀樹
Flute	佐久間由美子
Oboe	小畑善昭 古部賢一
Clarinet	磯部周平 山本正治
Fagott	前田信吉 吉田 将
Horn	松崎 裕 山本 眞
Piano	寺嶋陸也 野島 稔 若林 顕
Director	山本正治 (50音順)



## 入場料

前夜祭コンサート(自由席)	大人 ¥1,000	小・中学生 無料
フェスティバルコンサート(自由席)	大人 ¥3,500	小・中学生 ¥2,000
フェスティバルコンサート通し券	指定 ¥10,000	(通し券は木曽音楽祭事務局のみの発売です)

主催 = 木曽音楽祭実行委員会・木曽福島町・木曽文化公園

共催 = 信濃毎日新聞社・財団法人信毎文化事業財団

協賛 = 日本製紙株式会社 企画制作 = 東京アーティスト

お問合せ・電話予約 = 木曽音楽祭事務局 0264(21)1222 / 東京アーティスト 03(3440)7571  
スタジオ・ルンデ 052(203)4188

プレイガイド = チケットぴあ東京 03(5237)9990・名古屋 052(320)9999

木曽文化公園 0264(23)8011 / 木曽郡内各書店

宿泊のお申込み・お問合せ = おんたけ観光 0264(22)2568

ホームページ <http://www.town.kisofukushima.nagano.jp/music.htm>  
[music@town.kisofukushima.nagano.jp](mailto:music@town.kisofukushima.nagano.jp)

# 唐沢美貴さんの夢

田中勝巳

唐沢美貴さんが亡くなった。八十八歳の生涯だった。この十年ほどは、長男の住む埼玉で暮らしていた。元氣だったが、不調を訴えて、入院、十日程で眠るように亡くなったという。美貴さんは木曾音楽祭の創始者の一人だった。四月のはじめ、長男の昌伸氏が町を訪れ、美貴さんの意志を継いでと、音楽祭実行委員会に百万円を差し出した。日本の片田舎で、まだ音楽祭などとても考えられない時代に、国際音楽祭を主宰した発想力は才女というに相応しい人だった。八十三年に第一回最優秀プロデューサー賞を、大分平松知事等とともに受け、続いて二年後第六回エイボン女性賞を受賞した。この賞の第一回受賞者は女性解放運動の指導者市川房枝氏だった。これだけでも木曾国際音楽祭が、社会からどのように評価されていたか明らかだ。

「昭和五十年代は、遅咲きの花、例えばそれが徒花であろうとも、満開の花のときではありました」と自叙伝で振り返っている。

飯田裕氏との出会い、触発されて音楽祭で甦ったアメリカの小さな過疎の町マルポロに魅せられて自ら足を運び、木曾福島を音楽の町にと夢を膨らませた。

それから四半世紀、全国の草分け的存在だった木曾音楽祭は、さまざまな歴史の年輪を刻みながら今年で二十六回を迎える。昨年第二十五回音楽祭は、小さいながら弦楽オーケストラを編成し、反響を呼んだ。入場者も年々増え、実行委員会関係者を喜ばせている。

木曾音楽祭には、三十人余の演奏家たちが全国から手弁当でやって来る。ほとんどゼロに等しい出演料で、一週間から十日も滞在する。ただただ心から「感謝」の意を申し上げたい。またそれだけに、「木曾は心のふるさと」と言って下さる演奏家

のみなさんに、心に響く木曾の夏を提供しなければと思ったりしている。昨年木曾福島に国土庁が派遣した三人の町づくりアドバイサーが訪れた。三人が注目したのは二十五回を重ねた音楽祭で、「音楽祭で町おこしができないだろうか」と呼びかけた。演奏家たちが、木曾福島を舞台に明日を担う若者たちを指導する環境が出来たらと思ったりする。それは美貴さんがかつて画いた夢「木曾福島を日本のマルポロに」と同じ軌跡だ。まだ遠いが、ポランテアにかかわる町民みんなの気持ちだろう。

木曾音楽祭実行委員会会長  
木曾福島町長

## 8月24日(木) 7時 前夜祭コンサート

名曲コンサート <司会:服部譲二>  
モーツァルト●フィガロの結婚 序曲 他(木管八重奏版)  
クロール●バンジョーとフィドル <服部>  
ショパン●英雄ポロネーズ <若林> 他

## 8月25日(金) 7時 フェスティバルコンサートⅠ

モーツァルト●ディヴェルティメント 第11番 ニ長調 K251  
<古部 松崎 山本真 小林 漆原 市坪 山崎>  
ラハナー●九重奏曲 へ長調  
<佐久間 小畑 磯部 山本真 前田 加藤 安藤 山本裕 星>  
シューベルト●ピアノ五重奏曲 イ長調 op.114 D.667「ます」  
<若林 久保 菅沼 堀 星>

## 8月26日(土) 7時 フェスティバルコンサートⅡ

ダマーズ●木管五重奏のための17の変奏曲  
<佐久間 古部 山本正 吉田 松崎>  
コルンゴルト●ピアノ五重奏曲 ホ長調 作品15  
<寺嶋 漆原 鈴木 市坪 堀>  
ブラームス●セレナーデ 第1番 ニ長調 作品11(九重奏版)  
<佐久間 山本正 磯部 松崎 吉田 服部 廣狩 山崎 星>

## 8月27日(日) 3時 フェスティバルコンサートⅢ

メンデルスゾーン●弦楽五重奏曲 第1番 イ短調 作品18  
<服部 久保 菅沼 廣狩 山本裕>  
シュポア●幻想曲と変奏曲 変ロ長調 作品81  
<磯部 鈴木 小林 安藤 堀>  
ボザ●木管八重奏曲  
<小畑 古部 山本正 磯部 松崎 山本真 前田 吉田>  
ブラームス●ピアノ四重奏曲 第1番ト短調 作品25  
<野島 加藤 市坪 山崎>

## 来年のパンフレットはあなたの作品で!

木曾音楽祭事務局では、来年の音楽祭のパンフレット作りのために、皆様からの写真とエッセイを募集しております。手作りの音楽祭として、今年で26年目を迎えますが、音楽祭をお聴きいただいております皆様にも側面から音楽祭に参加していただきたいと考え企画いたしました。募集要項は下記のとおりです。

写真：木曾近辺の風景等。カラー／モノクロ何れでも可。  
郵送にて、カミヤキ2枚(キャビネ以上の大きさ)をお送り下さい。  
エッセイ：木曾に関連した随筆。1,000字程度  
過去いづれかの印刷物に掲載されたものは不可。  
郵送・ファクシミリ・e-mail等でお送り下さい。

締め切り：2001年1月末日必着

作品の送付・応募に関するお問合せ

397-0001 木曾郡木曾福島町5787-3  
木曾福島町教育委員会内 木曾音楽祭事務局  
TEL.0264-21-1222 FAX.0264-22-2276  
e-mail = music@town.kisofukushima.nagano.jp

作品を掲載させていただいた方には記念品を差し上げます。尚、いづれの応募作品も返却いたしませんのでご了承下さい。

●木曾音楽祭へは臨時バスをご利用ください。(大人400円 小人200円)

	木曾福島駅発	木曾文化公園着	木曾文化公園発	木曾福島駅着
8月25日(金) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月26日(土) 19:00	18:00	18:30	21:00	21:30
8月27日(日) 15:00	14:00	14:30	17:00	17:30

\*木曾福島駅行きバスの発車時刻は、終演時間によって前後致します。



# 木曾路

木曾は四方を山に囲まれた山岳の地。古く中山道は、江戸・日本橋から京都・三条大橋を結ぶ重要な街道として人々に利用され、今でもその歴史を色濃く残している。木曾路の険路には11の宿場が設けられ、妻籠や馬籠、奈良井などの宿場町を始め、贅川(にえかわ)関所、福島関所などが置かれた。寝覚の床、霊峰御嶽など、景勝の地や、歴史と文化を物語る史跡を見ることができる。そして若者が集うスキー場はもちろん、テニスコート、ゴルフ場、多くの温泉なども点在しており、夏にはさわやかな高原で都会では味わえない満天の星空や自然とのふれあいが楽しめます。



**開田高原／開田村**  
山々に埋もれる木曾谷では珍しく、広大な高原です。忘れな草・木曾馬・そばの産地です。



**奈良井宿／榎川村**  
江戸時代の宿場町で、今も古い家並みが残っています。奈良井独特のしとみ戸、千本格子、出梁り創りが、遠い昔を偲ばせます。



**木曾御嶽山**  
標高3,067m。悠然とそびえ立つ霊峰御嶽。古くから信仰の対象として、また登山客にも人気があります。山麓の高原は、素晴らしい自然体験でいっぱい。



**義仲館／日義村**  
木曾義仲公に関する古文書・絵巻・上洛地図ほか、巴御前などの武者人形も展示されています。



**寝覚の床／上松町**  
奇岩奇石の間をぬってエメラルドグリーンの深淵が、神秘的な輝きをはなっています。遊歩道内には、時をテーマとした美術公園もあります。



**藤村記念館／山口村**  
島崎藤村の生家、馬籠本陣跡にある資料館。復元された冠木門をくぐると回廊式の記念堂・隠居所・蔵の図書館などが並びます。



**妻籠宿／南木曾町**  
中山道木曾11宿のひとつ。重要伝統的建造物群保存地区に選定されたほど、集落保存がよく、往時を想わせる街並みです。

## 交通のご案内

### 電車（JR特急）ご利用の場合

- 新宿から木曾福島  
中央本線 あずさ・塩尻・しなの、中央本線…約3時間20分  
新幹線 名古屋・しなの、中央本線…約3時間40分
- 名古屋から木曾福島  
中央本線……………1時間18分

### 車ご利用の場合

- 新宿から木曾福島  
中央自動車道 塩尻IC R19…約4時間
- 名古屋から木曾福島  
中央自動車道 中津川IC R19…約2時間30分

### バスと電車ご利用の場合

- 新宿から木曾福島（往復7,850円!! 約4時間）  
京王高速バス松本線 新宿—松本（往復5,950円）  
JR線 松本—木曾福島（各駅停車）（往復1,900円）  
京王高速バス Tel. 03 (5376) 2222